

成技資24098B

# 故障修理支援ツールLBT103 ファームウェア「LBT103\_R103.YMC」 アップデート作業手順書

株式会社 正電成和



## 注意

バージョンアップ中は、絶対に電源をオフにしないでください。  
バージョンアップ中に電源をオフにすると、起動できなくなることがあります。

本ファームウェアはLBT-103専用です。LBT-101、LBT-102には適用できません。  
また、LBT-101、LBT-102用のファームウェアをLBT-103に適用しないでください。  
適用した場合、正常に起動できなくなることがあります。

## 2. USBメモリを使用したバージョンアップ手順

準備するもの

No.	品名	数量	備考
1	LBT-103 本体	1台	
2	LBT-103用 ver.1.03ファームウェア	1式	
3	パソコン	1台	
4	USBメモリ	1本	No.2のファームウェアを保存するために使用します。
5	LBT-103用 USBパワーアダプタ	1個	LBT-103用充電器です。
6	LBT-103用 USB Type Cケーブル	1本	LBT-103用充電器に付属するケーブルです。

次ページより詳細な手順をご説明します。

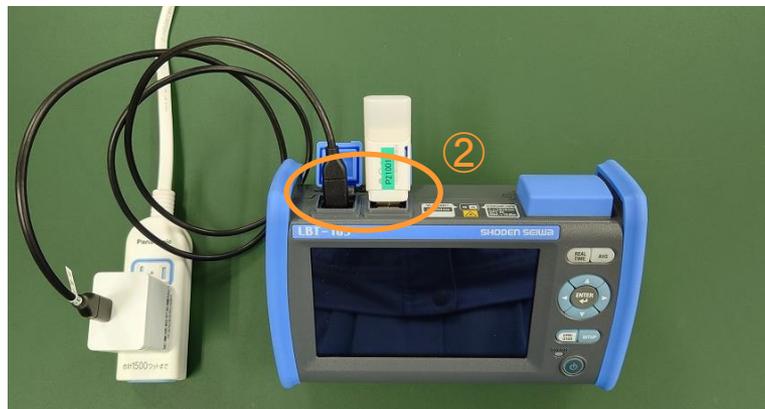
No.6 LBT-103用 USB Type Cケーブル

No.5 LBT-103用 USBパワーアダプタ



## 2. USBメモリを使用したバージョンアップ手順

- ① ダウンロードしたファームウェア「LBT103\_R103.YMC」をUSBメモリにコピーします。
- ② 本体左上にある2つのカバーを開け、左には充電器、右にはUSBメモリを接続します。



- ③ 「電源ボタン」を光るまで長押しし電源を入れます。右下の画面になったら起動完了です。

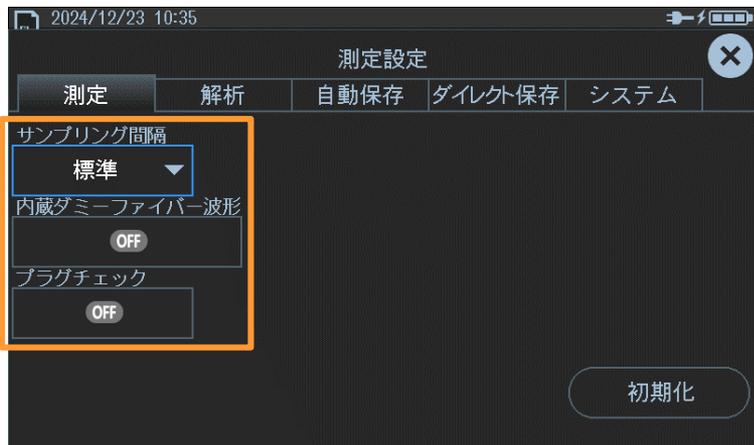


- ④ 「SETUPボタン」を押します。

## 2. USBメモリを使用したバージョンアップ手順

- ⑤ バージョンアップにより工場出荷時設定に戻る項目があるため現在の設定値をメモします。  
なお、工場出荷時設定（下記写真の値）のまま使用されている場合は本作業は不要です。  
⑥に進んでください。

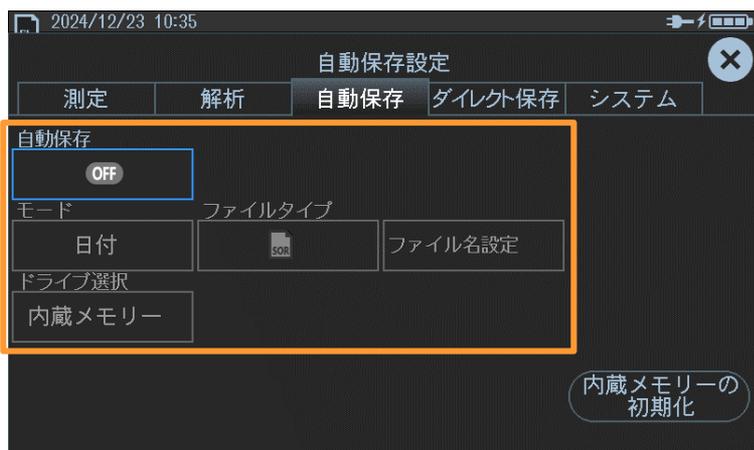
「測定」タブ



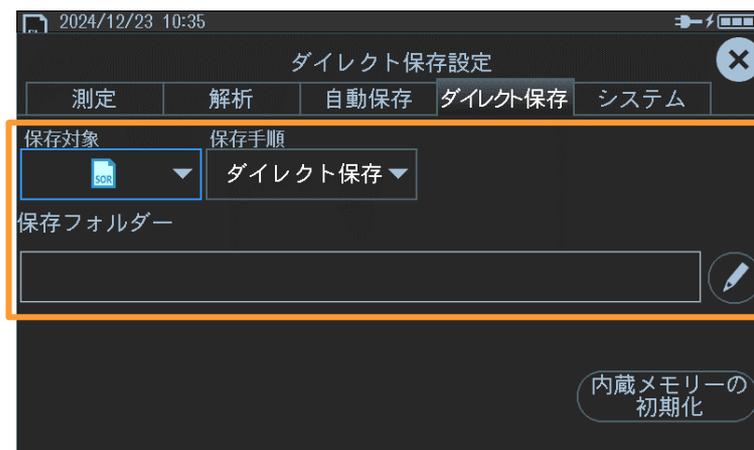
「解析」タブ



「自動保存」タブ



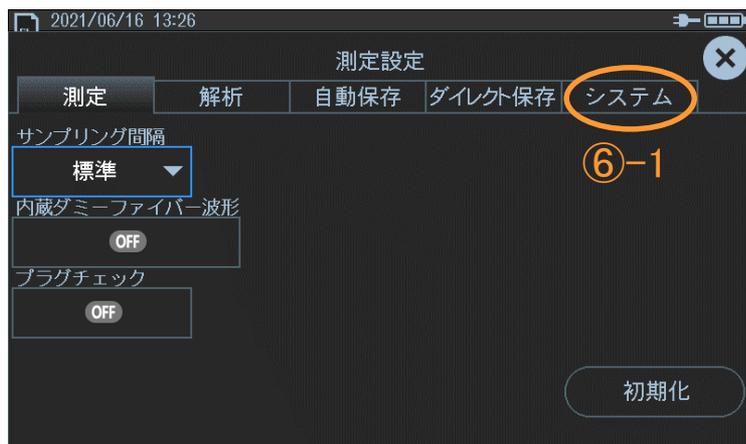
「ダイレクト保存」タブ



- ⑥ 遠隔操作機能を使用されている場合、バージョンアップによりSSIDとパスワードが工場出荷時設定に戻るため現在の設定値をメモします。

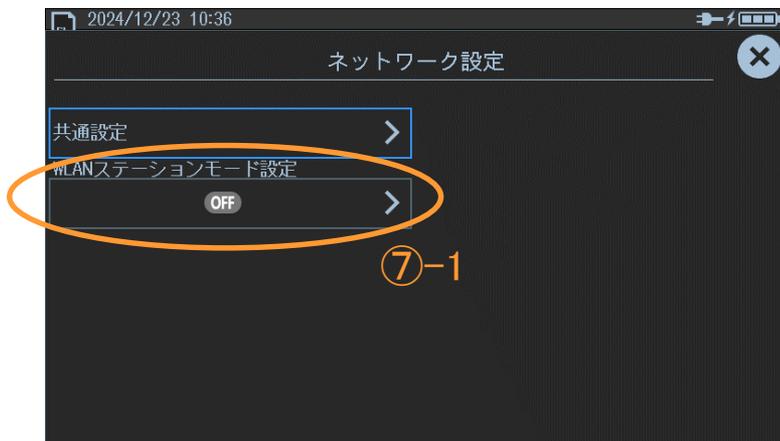
遠隔操作機能を使用されていない場合、または、SSIDとパスワード欄（⑦-2）が空欄の場合は本作業は不要です。⑦-5にある「システム」から「バージョンアップ」をタップし⑧に進んでください。

「システム」をタップし「ネットワーク設定」をタップします。

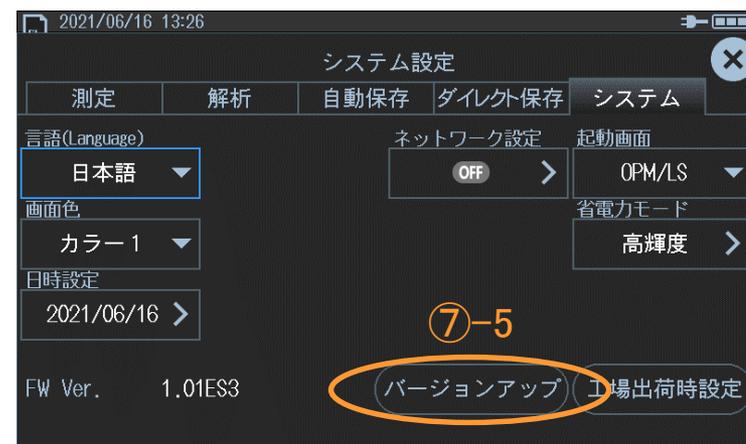
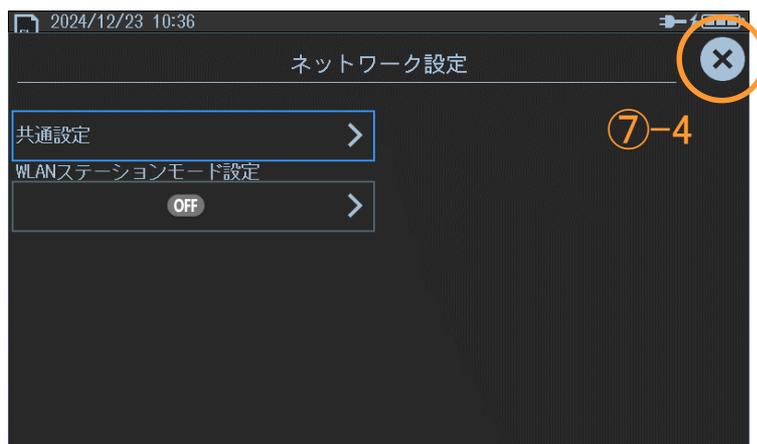


## 2. USBメモリを使用したバージョンアップ手順

- ⑦ 「WLANステーションモード設定」をタップし、現在のSSIDとパスワードをメモします。メモ記入後、右上の「X」を2回タップして「システム」画面へ戻り「バージョンアップ」をタップします。

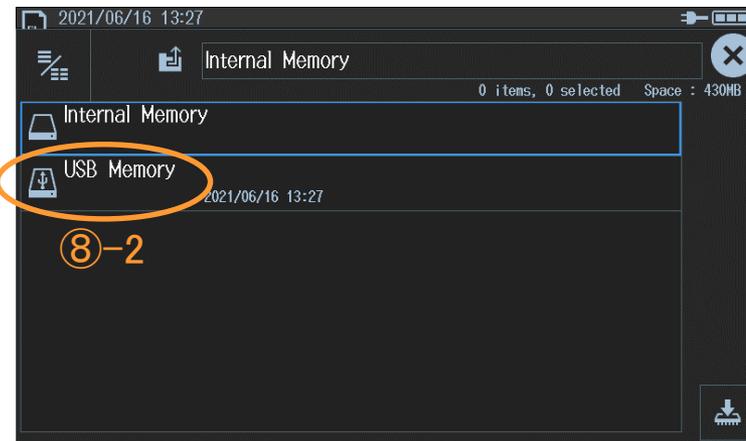
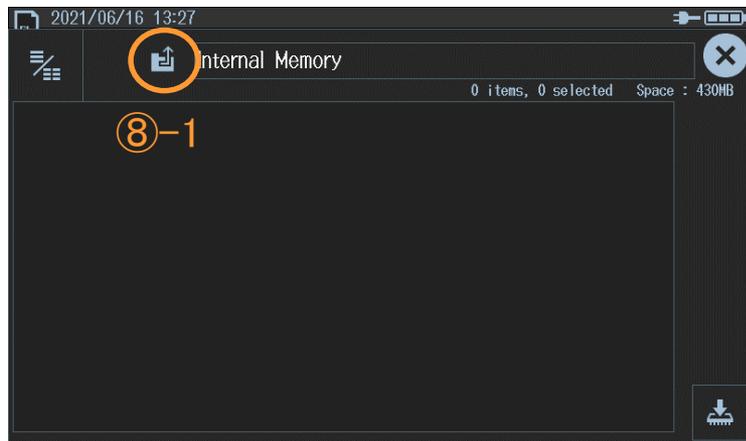


メモ欄 SSID : \_\_\_\_\_  
パスワード : \_\_\_\_\_

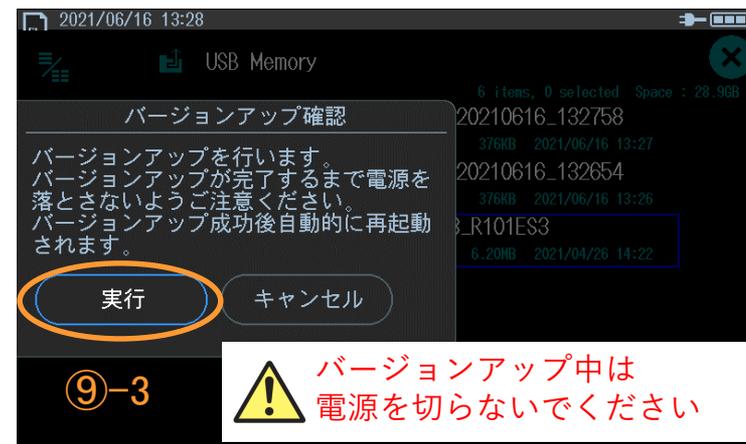
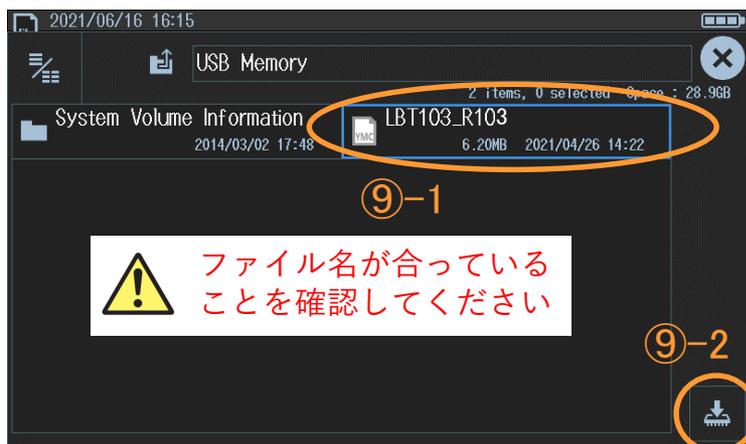


## 2. USBメモリを使用したバージョンアップ手順

- ⑧ 「」をタップし「USB Memory」をタップします。

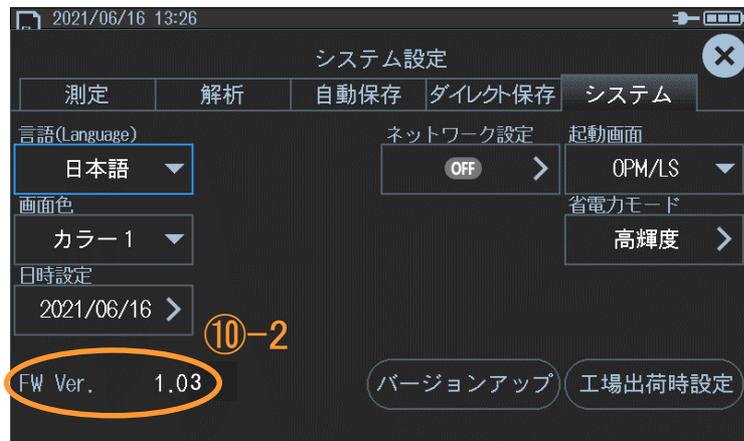


- ⑨ 「LBT103\_R103」をタップし右下の「」をタップします。  
「実行」をタップするとバージョンアップが開始されます。（所要時間 約5分）



## 2. USBメモリを使用したバージョンアップ手順

- ⑩ バージョンアップ完了後、自動で再起動します。再起動後「SETUPボタン」を押し「システム」からFW Ver.が「1.03」になっていることを確認します。



- ⑪ 電源ボタンを長押しし電源を切ります。充電器とUSBメモリを外しカバーを閉じます。

### 3. PCを使用したバージョンアップ手順

準備するもの

No.	品名	数量	備考
1	LBT-103 本体	1台	
2	LBT-103用 ver.1.03ファームウェア	1式	
3	パソコン	1台	
4	PC接続用 USB Type Cケーブル	1本	PCにUSB Type Cポートがある場合、No.6で代用可能です。
5	LBT-103用 USBパワーアダプタ	1個	LBT-103用充電器です。
6	LBT-103用 USB Type Cケーブル	1本	LBT-103用充電器に付属するケーブルです。

次ページより詳細な手順をご説明します。

No.6 LBT-103用 USB Type Cケーブル

No.5 LBT-103用 USBパワーアダプタ



### 3. PCを使用したバージョンアップ手順

- ① ファームウェア「LBT103\_R103.YMC」をダウンロードしたPCを準備します。
- ② PCのUSBポートとLBTの充電ポートを接続し、電源ボタンを長押しして電源をいれます。



### 3. PCを使用したバージョンアップ手順

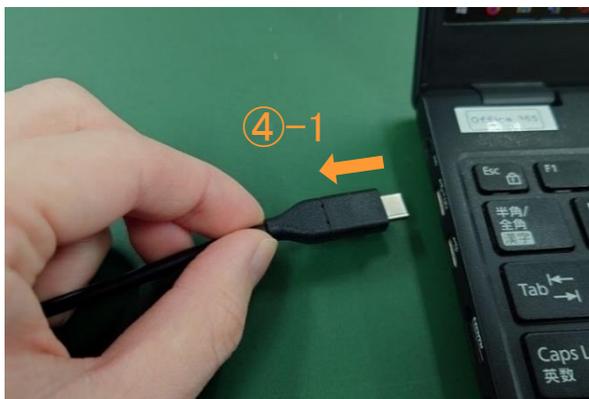
- ③ LBTの内蔵ストレージがUSBドライブとしてPCに表示されます。USER→DATAとクリックして進み、ファームウェア「LBT103\_R103.YMC」をDATAフォルダに保存します。

⚠ DATAフォルダは波形データ(.sor)やスクリーンショット(.jpg、.bmp)が保存されているフォルダになります。下図はデータが保存されていない場合ですが、お使いの機器の状態により上記データが保存されている可能性があります。



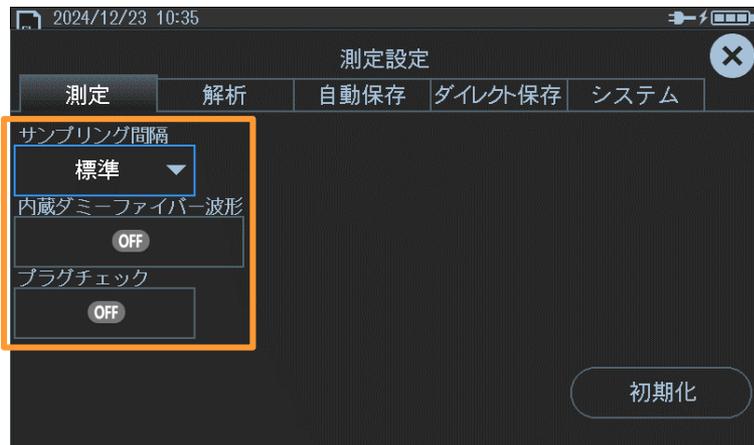
- ④ PCからUSBケーブルを引き抜いて充電器を接続し「SETUPボタン」を押します。

⚠ USBケーブルを抜き、充電器に接続しないとバージョンアップができません。



- ⑤ バージョンアップにより工場出荷時設定に戻る項目があるため現在の設定値をメモします。  
なお、工場出荷時設定（下記写真の値）のまま使用されている場合は本作業は不要です。  
⑥に進んでください。

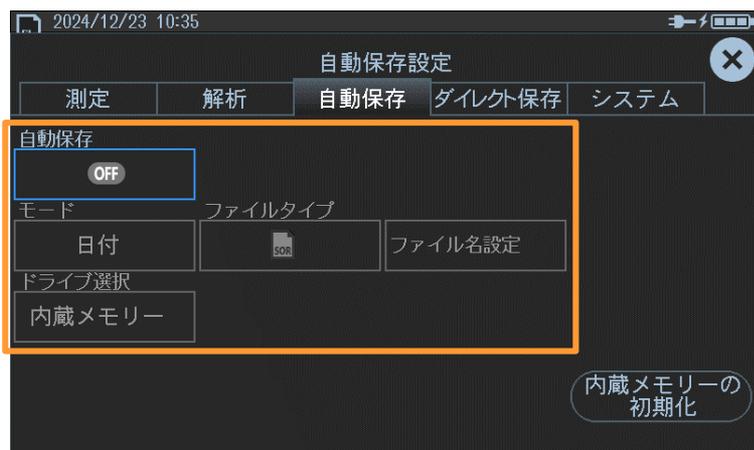
「測定」タブ



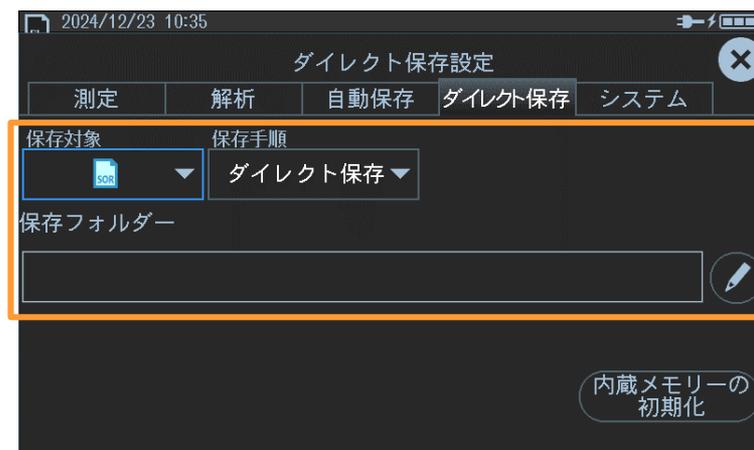
「解析」タブ



「自動保存」タブ



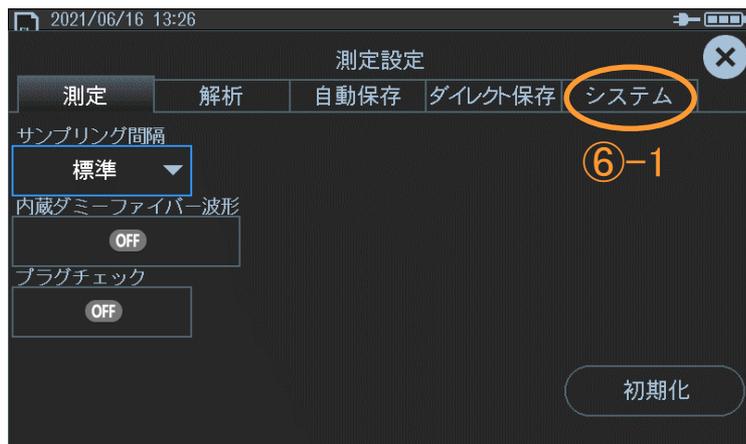
「ダイレクト保存」タブ



- ⑥ 遠隔操作機能を使用されている場合、バージョンアップによりSSIDとパスワードが工場出荷時設定に戻るため現在の設定値をメモします。

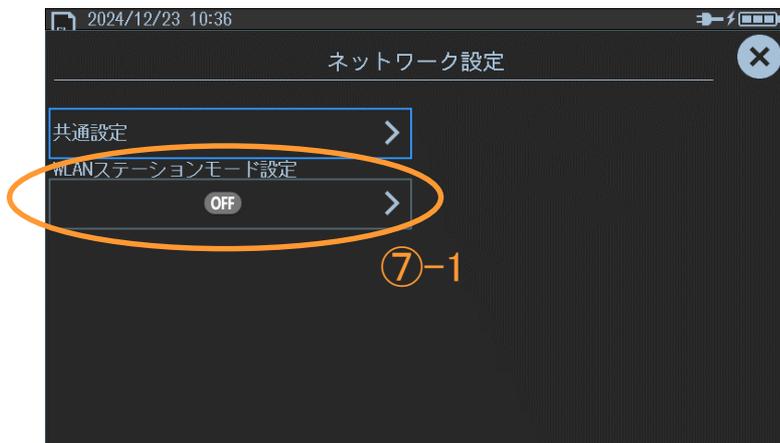
遠隔操作機能を使用されていない場合、または、SSIDとパスワード欄（⑦-2）が空欄の場合は本作業は不要です。⑦-5にある「システム」から「バージョンアップ」をタップし⑧に進んでください。

「システム」をタップし「ネットワーク設定」をタップします。

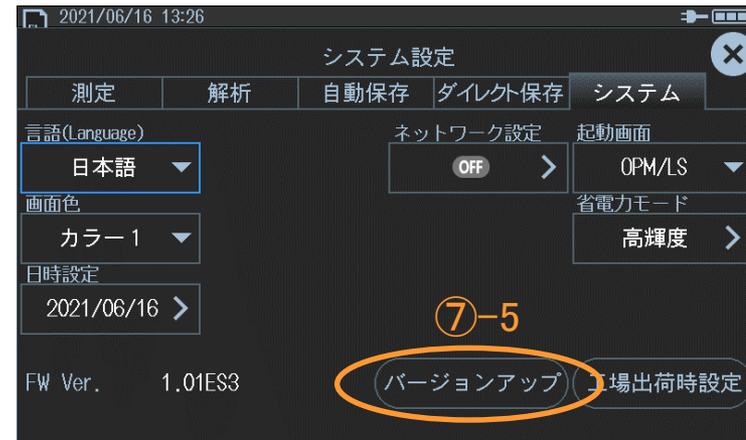
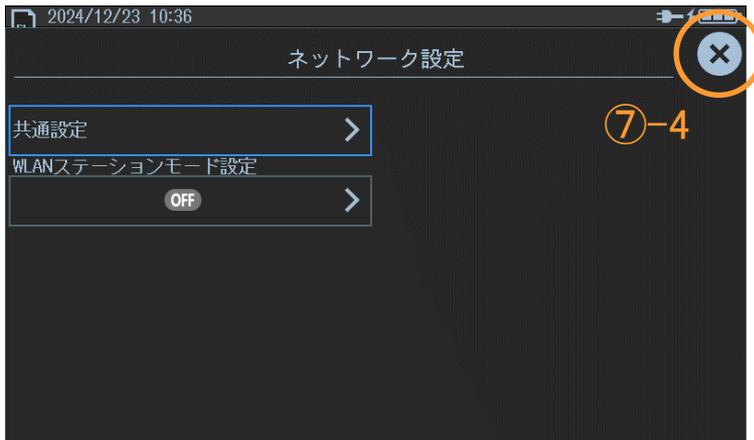


## 2. USBメモリを使用したバージョンアップ手順

- ⑦ 「WLANステーションモード設定」をタップし、現状のSSIDとパスワードをメモします。メモ記入後、右上の「X」を2回タップして「システム」画面へ戻り「バージョンアップ」をタップします。

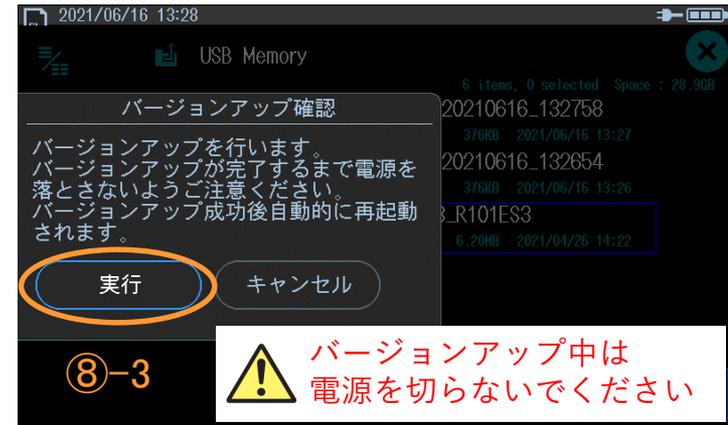
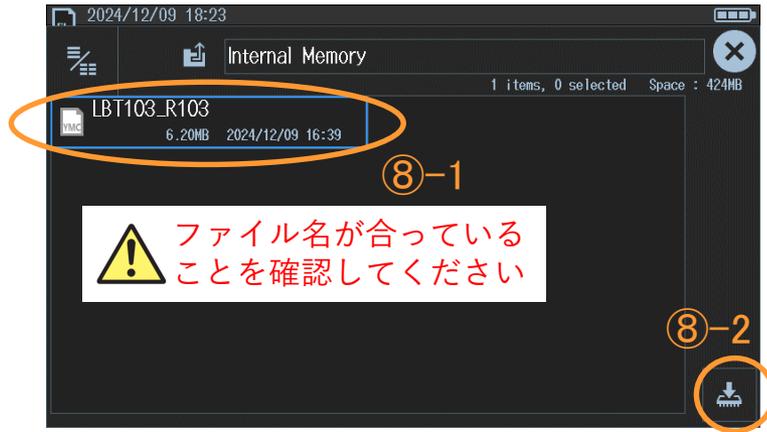


メモ欄 SSID : \_\_\_\_\_  
パスワード : \_\_\_\_\_

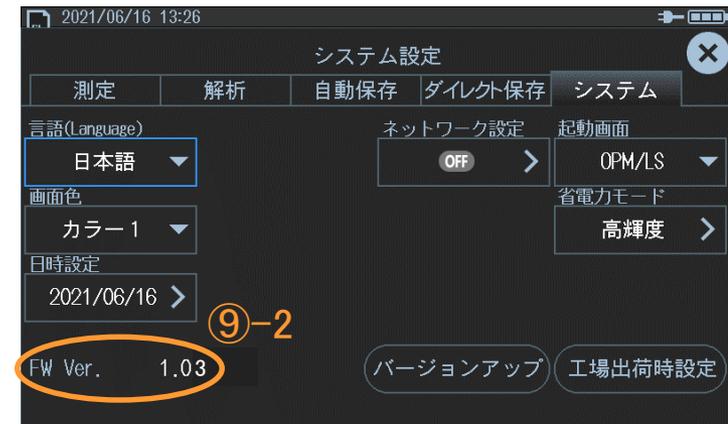


### 3. PCを使用したバージョンアップ手順

- ⑧ Internal Memoryの中から「LBT103\_R103」をタップし右下の「」をタップします。「実行」をタップするとバージョンアップが開始されます。（所要時間 約5分）



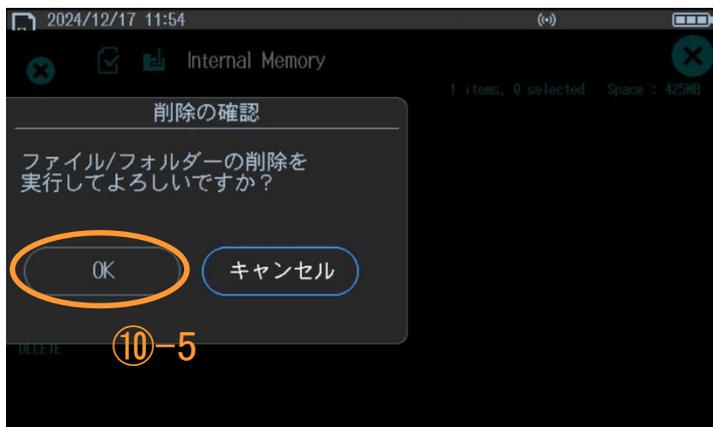
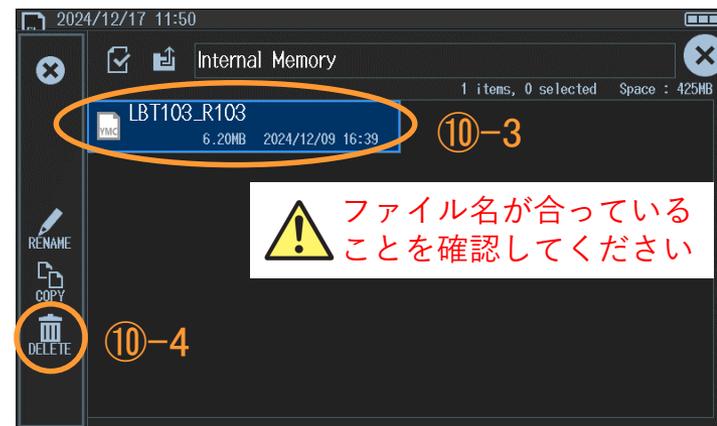
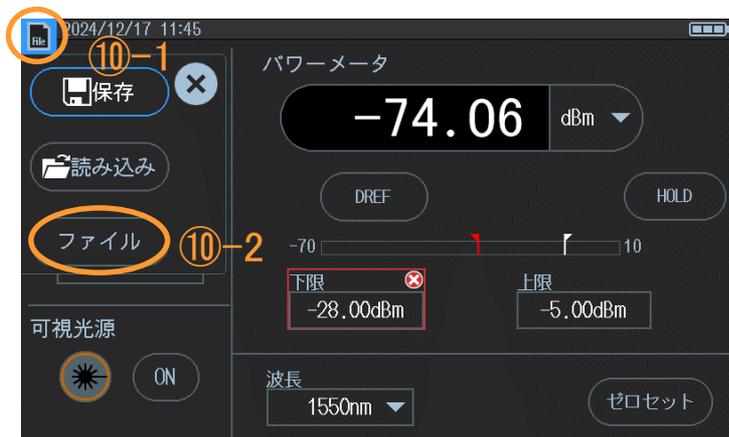
- ⑨ バージョンアップ完了後、自動で再起動します。再起動後「SETUPボタン」を押し「システム」からFW Ver.が「1.03」になっていることを確認します。



### 3. PCを使用したバージョンアップ手順

⑩ ③で保存したファームウェアデータを削除します。

「SETUPボタン」を押しOPM画面に戻ります。左上の「File」をタップし「ファイル」をタップします。「LBT103-R103」をタップすると左にアイコン3種が表示されます。「DELETE」をタップし「OK」をタップすると削除完了です。「X」をタップして閉じます。



⑪ 電源ボタンを長押しして電源を切ります。充電器を外しカバーを閉じます。